令和8年10月 22 日　校長通信 No.16

ことのは

岡崎市立常磐小学校
校長　岡村 直美

　17日の学芸会『常磐劇場 「楽しい」がつまった宝箱』では、多くの方々にご覧いただくことができ、子ども達はのびのびとした演奏と演技でやり遂げることができました。ありがとうございました。下見や校内学芸会での経験から、練習時には、児童が課題を伝え、最後に振り返りを行っている様子や、場面ごとに分かれて練習しながら、台詞や動きについてアドバイスし合っている姿を見かけました。協力して、より伝わる演奏や劇を目指し続けていました。当日、下校する子ども達の「楽しかった」「頑張れた」の言葉や表情からは、学級や部活動で一つのものを作っていく過程での楽しさと共に、完成を目指す仲間との一体感や存在の素晴らしさを感じられたことが伝わってきました。







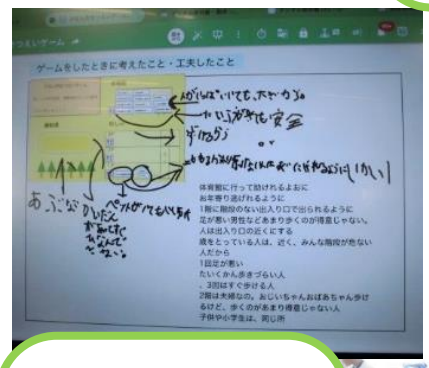


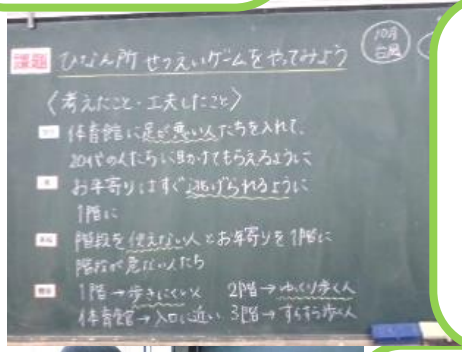


まさしく、芸術の「秋」おかざきっ子展作品つくりに続いて、読書感想画に取り組み始めています。**「この場所は、ネズミの家族が住んでいるんだよ。ここがキッチンで、こっちはベッドなんだ」「ネズミが驚いてるところ」**課題図書や読み聞かせでの話から、想像をふくらませ、自由な世界を画用紙いっぱいに描いています。個性ああふれる画家がいっぱいです。



「キャッチOKだから、3回で返そう」５年生の体育授業では「キャッチバレーボール」を学習中。柔らかいボールでパスからスタート。ネット型のゲームへつなぎます。





　４年生が避難所設営について、タブレットのドリルなどを活用して各々が考え、意見交流を行っていました。**「お年寄りは、もし次に地震があっても早く避難できるように、１階がいい」「ペットがいる人はどこ？」「赤ちゃんがいる人達は一緒にしたら助け合える？」**自分の考えた設営方法や計画、その理由を記入した画像（左画像）を電子黒板に写し、説明できている様子に感心しました。



「何度も作り直して、やっとうまく転がるようになったんだよ」「これなら楽しんでくれるかな」１・２年生での異学年交流「ワンツータイム」で１年生をもてなす遊びを２年生が試行錯誤していました。相手を想像して考える経験をこれからも大事にしたいです。

体育館西側のソメイヨシノが数輪開花していました。秋とは思えない暑さの中、休み時間には汗を流して遊ぶ子供たちがいます。元気に過ごしてくれている日々に感謝しています。

